

GOAT BULLETIN

Laboratory of Animal
Husbandry Resources

臨時号
2017年2月発行

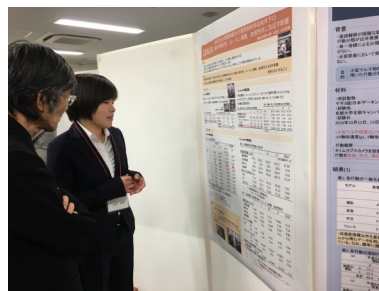
修士学位論文発表会・卒論ポスター発表会

2017年2月10日(金)に卒論ポスターの発表会があり、今年の畜産資源学研究室からは4回生3人が発表を行いました。卒論のタイトルは、岡本 貫君が「黒毛和種における種雄牛の系統が枝肉形質に及ぼす影響」、坂井 幸貴君が「小型マルチ物理センサーを用いた反芻家畜の行動判別」、山内 望萌さんが「液化仕込み清酒粕給与が濃厚飼料多給条件下の綿羊の消化性、ルーメン発酵、血液性状に及ぼす影響」でした。ポスター会場には、教授陣や学生、関係者もたくさん集まり、多くの質問が寄せられていました。発表会は午前と午後2回に分けて行われ、坂井君のポスターへの質問に岡本君が答えるなど、畜産資源のチームワークの良さも見られました。

翌週の2月14日(火)には、修士学位論文発表会があり、畜産資源の修士2回生であり、世話役でもある瀬戸口 暁君が「褐色和種の周年放牧肥育生産に関する環境影響及び経済性の評価」というタイトルで、発表講演を行いました。



ポスターの前に立つ坂井君と岡本君



質問に答える山内さん



修論発表を終えた瀬戸内君に
駆け寄る畜資のメンバー

修論発表会を終えた14日の夜には、有志のみなでモツ鍋と日本酒で「お疲れ様会」を開いて労いました。みんなよく頑張りました、お疲れ様～

学位論文口頭試問会

PhD Candidates
Survivors

2月15日と16日に博士学位口頭試問(学識確認)が行われ、畜産資源からは以下の4名が教授陣を前に各々の研究の価値と正当性を主張しました。

Sukanya Kamphayae (プラ)さん「Utilization and development of liquid brewer's yeast mixed with cassava pulp for cattle feed (キャッサバデンプン粕と混合した液状ビール酵母の牛用飼料としての利用と開発に関する研究)」

酒井貴志君「Studies on utilization of by-products for ruminant feeds in tropical Asia (熱帯アジアにおける未利用資源の反芻家畜への飼料化に関する研究)」

Wang Lin(王琳)さん「Studies on utilization of tamarind kernel powder extract residue as a feed for ruminants(タマリンド核抽出粕の反芻家畜用飼料としての利用に関する研究)」

三輪雅史君「Estimation of energy expenditure of grazing ruminants via accelerometry. (加速度測定による放牧反芻家畜のエネルギー消費量推定)」

ヤギとヒツジの近況



2011年にGOAT BULLETINが廃刊となった後も、2007年生まれ(2頭が3/19生まれ、残りの1頭が4/8生まれ)の3頭の日本ザーネン種ヤギ3頭がずっと畜舎にいました。

一番でかくて偉そうなのが“ポン”、一番小さくて利口なのが“アンカン”、その間で苦労してそうなのが“チー”です。

到着したころの話はGOAT BULLETINの第18号に記載されていますね。

残念ながら、去る2017年1月7日にチーが老衰でこの世を去り、現在は2頭になりました。

この3頭は長らく実験に使われておらず、名前もついていることもあってペットのように扱われており、時々雑草防除のために圃場に出されたとき以外は畜舎の飼料費を圧迫するばかりでした。

しかし、幸か不幸か、ここ最近放牧班(大石先生)の標的にされ、無事実験動物らしく過ごしています。

研究テーマとしては「反芻家畜の生理・行動評価への生体センシング技術の応用」となります。

加速度計や心拍計を装着してデータをとることで、



反芻家畜の行動の予測や生理状態の評価に取り組んでいます。

ヒツジについては、コリデール種のヒツジ7頭が畜舎で飼われています。コリデール種とはニュージーランド原産の毛肉兼用種で、顔も毛もホワイトのヒツジです。

2013年度以前からいる古株ヒツジが2頭おり、2014年7月に滋賀県立大学から2頭、2015年7月に六甲山牧場から2頭、そして昨年5月に滋賀県畜産センターから1頭のヒツジをそれぞれ畜舎に迎えました。

ヒツジは定期的な増減があるため、ヤギと違って名前はありません。毛がよく伸びるので、年に1回、毎年4月に畜資総出でヒツジ達の毛刈りを行っています。畜資のヒツジは主に飼料関係の実験に役立っています。食品副産物の飼料としての有用性を調べるといったテーマの実験が多いです。



(ヤギ担当: 三輪君、ヒツジ担当: 北島さん、写真: 山内さん)

好評連載 広岡先生の随筆

④7 決断について ーいま、悩んでいる人へー

短い間だが、塚原さんがアメリカでのポスドクの時に行った実験データの統計分析のために我々の研究室に滞在している。話の流れから、1回限りだが滞在中にgoat bulletinを出してくれることになった。そこでさっそく筆をとることにした。以前は、goat bulletinのために、思いついたことをメモに取ることが日課となっていたが、休刊してからはその習慣もなくなった。この間、goat bulletinがあれば書きたいのと思うことが何度もあったが、最近記憶力がめっきり衰えたせい、思い出そうにも思い出せない。しかし、塚原さんのありがたい申し出に何としても答えたいと、いまコンピュータに向かっている。



この季節は、学生たちが研究室から巣立つときである。別れの季節でもある。修士の学生であれば3年、博士の学生であれば5年以上の付き合いである。同じ釜の飯を食べたもの同志でもある。このような関係は短い時期であっても、生涯の付き合いになる可能性が高く、特に青春の最も大事な時期をともにしたということは何らかの縁がそうさせたのであろう。

私は何らかの形で必ず学生たちの就職の機会に直面する。学生たちにとって就職は最も重要な人生の選択の一つで、必ず何らかの決断が伴い、そしてその結果に今がある。就職を決めるのも、その後の結婚、転職なども決断が必要となる。その決断がその後の人生を左右する。そしてその決断の良しあしはその人の幸・不幸と直結する。

以前、Goat Bulletinで書いた記憶があるが、運のつかみ方にうまい人と下手な人がいる。同じように、決断のうまい人とそうでない人がいる。私も長く生きてきたせい、時として学生の運の流れと為すべき決断が見えることがある。私にはそれが感じられることが多い。ここでは、その学生は何があってもこう決めるべきということを、ひしひしと感じる局面がある。当然、そう感じた時にはアドバイスしてあげるのであるが、それを受け入れるかどうかは本人の判断、選択である。

人は決断に際して、最も悪いのは迷ってどちらを選択するかを決めかねてずると現状維持を続けることである。現状維持では現状の状況ですら中途半端になり、幸運は決して訪れない。人は時として覚悟が必要である。しかし、決して欲張ってはいけぬ。二兎を追う者は一兎を得ずの格言通りに、多くの場合、失敗する。何かを得るためには何かを捨てなければならず、何かを捨ててこそ幸運も訪れるものである。

また、ひとたび覚悟して決断をすれば、決して後悔をしてはいけぬ。そして決断に際には、信頼できる多くの人に相談したほうがよい。これらの意見や情報を集約して、そして自分の意思で決断すればよい。人の意見に左右されて決断するのは最悪であるが、人の意見を参考にすることは決してマイナスにはならない。特に、親や先生、仲の良い先輩の意見は聞くにこしたことはない。長く生きているということはそれなりに知識も情報も多いはずである。

決断のうまい人は、一般に自分の立ち位置の見定めと運の流れのつかみ方に優れている。以前に述べたように幸運は等しく誰にでも訪れるもので、その幸運をいち早く見つけ、的確にキャッチできるか否かでその人の人生が変わる。

決断をするからには、全力で成功するように努力すべきである。中途半端な気持ちで決断に臨めば、通常は失敗する。日頃から努力してまじめに取り組んでいれば、その決断が正しければ運命の女神は後押ししてくれるものである。それでもその決断によって玉砕したとしても、それは人生塞翁が馬と割り切って、次に進めばよいのである。全力を尽くして得られないのであれば、それはその決断の向こうにあるものと縁がなかったか、あるいはその決断は誤っていたかである。

人は、時として決断に迫られることがあるが、その時に鉄則は、早く正しく判断して、自分の意思でその決断を実行することである。そしてその決断に後悔しないことである。

在籍メンバー紹介

畜産資源研究室はこれまでどおり廣岡先生、熊谷先生、大石先生と事務の久保さんでフル体制が敷かれています。ここでは、2017年2月現在のそのほかの在籍メンバーを紹介します♪

①名前 ②学年 ③あだ名または呼び名 ④出身地 ⑤出身高校(大学) ⑥特技 ⑦研究テーマ ⑧ひとこと

- ①安在弘樹
- ②教務補佐員
- ③あんざい
- ④大阪府
- ⑤大阪星光
- ⑥けいば
- ⑦色々してます。。
- ⑧まだいてます。。



- ①Sukanya Kamphayae
- ②Animal Husbandry Technical Officer, senior professional level and act as director at Nong Khai Animal Nutrition Research and Development Center, Nong Khai Province
- ③Pla
- ④The Bachelor degree and Master degree from Khon Kaen University
- ⑥fishing with my family
- ⑦the using of by-product from the brewery and starch factory

“Utilization and development of liquid brewer’s yeast mixed with cassava pulp for cattle feed”

⑧ I would like to gratefully thank and deeply indebted to Associate Professor Dr. Hajime Kumagai, Graduated School of Agriculture, Kyoto University, my supervisor for advice, encouragement and valuable suggestions for the Ph.D. study, also thank you for Professor Dr. Hiroyuki Hirooka and Assistant Professor Dr. Kazato Oishi.

Furthermore, thank you and really appreciate to the current and graduated students of Laboratory of Animal Husbandry Resources, in addition to Kubo-san for many helps and advice during I stay here.

Two weeks in 2013, 2 months in 2014, 1 month in 2016 and 1 week (2 times) in 2017.

The great experiences with kindly friends and people here. Keep in touch

(プラさんは、熊谷先生のタイのプロジェクトメンバーで、今年畜産で論文博士号取得にチャレンジ、今回は口頭試問会のために来日しています)



- ①酒井貴志
- ②オーバードクター
- ③なし
- ④大阪
- ⑤近畿大学生物工学部
- ⑥放浪
- ⑦熱帯アジアにおける未利用資源の反芻動物への飼料化に関する研究
- ⑧よろしくどうぞ



- ①三輪雅史
- ②博士3年
- ③みわ
- ④愛知県
- ⑤一宮高校
- ⑥将棋(弱い)
- ⑦加速度測定による放牧家畜のエネルギー消費量の推定
- ⑧学位が取れたらこの春でさよならですが、結果や如何に。



①名前 ②学年 ③あだ名または呼び名 ④出身地 ⑤出身高校(大学) ⑥特技 ⑦研究テーマ ⑧ひとこと

- ①王 琳 (ワンリン)
- ②博士3年
- ③琳
- ④中国安徽省
- ⑤昆明理工大学
- ⑥音楽、旅行
- ⑦タマリンド核抽出粕の反芻家畜用飼料としての利用に関する研究
- ⑧Life is beautiful.



- ①網島 貴生
- ②修士2年
- ③あみちゃん
- ④大阪
- ⑤東大寺学園
- ⑥クイズ、パズル
- ⑦最適化アルゴリズムの畜産分野への応用
- ⑧白くて長いさだまさしファンです。



- ①瀬戸口 暁
- ②修士2年
- ③せとちゃん(?)
- ④大阪
- ⑤春日丘高校
- ⑥深夜か早朝に研究室に出現する
- ⑦放牧肥育牛の環境影響評価
- ⑧生活リズムが定まりません汗



- ①北島花歩
- ②修士1年
- ③かほ、かほちゃん
- ④石川県
- ⑤金沢泉丘高校、京都大学農学部
- ⑥弓道(部活に入っていました)
- ⑦心拍変動の解析によるストレスの評価
- ⑧お酒の飲みすぎに気をつけたいです!



- ①安中 勇大
- ②修士1年
- ③やすなか、大石先生だけゆうだいです。
- ④北海道札幌市
- ⑤札幌北高校
- ⑥オリエンテーリング、放浪
- ⑦リモートセンシング技術の放牧家畜管理への応用
- ⑧1年間の海外放浪から帰ってきました。次は南極へ行きたい。



- ①園田 裕太
- ②修士1年
- ③「園田(くん、さん)」
- ④京都府八幡市
- ⑤大手前高校
- ⑥ダンス(Animation、Poppin'、Lockin')、ダーツ(Hard & Soft)、寝ないこと(最大3日)
- ⑦アニマルウェルフェアがフードチェーンの各段階において与える影響
- ⑧僕の好きな言葉を紹介します。
«Le bonheur est de connaître ses limites et de les aimer.» 「幸福とは物事の限界を知り、その限界を愛することだ」



①名前 ②学年 ③あだ名または呼び名 ④出身地 ⑤出身高校(大学) ⑥特技 ⑦研究テーマ ⑧ひとこと

①牟禮 聡志 (ムレ サトシ)

- ②修士1年
- ③ムレ
- ④大阪
- ⑤大阪星光
- ⑥京都12レース
- ⑦軽種馬の生産モデルの構築に関する研究
- ⑧競馬が好きですが得意ではありません



①山内望萌

- ②4回生
- ③もも
- ④京都府長岡京市
- ⑤堀川高校 (京都府)
- ⑥体が柔らかい
- ⑦実験班：
液化仕込み清酒粕の濃厚飼料代替物としての利用可能性を検討する
- ⑧かわいいヒツジと一緒に実験してます！よろしくお願いします。



①岡本 貫

- ②4回生
- ③おかもと、かん
- ④兵庫県
- ⑤甲陽学院高校
- ⑥米をおかずに米を食べる
- ⑦黒毛和種の系統について
- ⑧余裕をもって生きる。

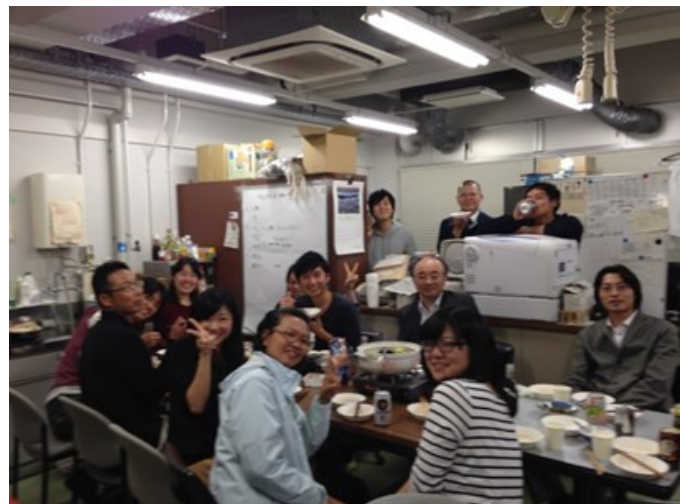


①勝俣沙智

- ②研究生
- ③さっちゃん、さち
- ④熊本と茨城
- ⑤竹園高校、宮崎大学
- ⑥バイリンガル(九州弁)。細かい作業。あとは、歩くのが早いです。
- ⑦従来型酒粕給与が緬羊の栄養物消化性、ルーメン発酵、血液性状に及ぼす影響
- ⑧お酒の飲みすぎに気を付けたいです！



- ①坂井幸貴
- ②4回生
- ③こうきくん
- ④神戸
- ⑤甲陽学院
- ⑥頑張ってなんか身につけます
- ⑦行動学
- ⑧畜資のHPを日本一にしたい



好評連載 広岡先生の随筆

④8 GOAT BULLETINについて

私は中学の時からずっと吉田兼好の「徒然草」が好きであった。徒然草を読んで、古文が好きになり、中学高校での最も得意科目は古文であった。徒然草は兼好法師（吉田兼好）が日々のよしなしごと（些細な出来事）を書き綴った書で、様々な人物や出来事がユニークなエピソード、教訓として述べられている。そしてその根底には、独特な無常観が流れている。Goat Bulletinには、その徒然草をイメージして、研究室での出来事、時事問題へのコメント、時には実際の人物のエピソードを書いてきた。



しかし、塚原編集長が博士課程を修了して、研究室を去ることになり、Goat Bulletinの継続が困難となって休刊することになった。連載していたころは、毎月1度とは言え、書く物がなかなか思いつかずに苦労したこともあった。しかし、あらためて読み返してみるとその時々を考えていたことが思い出されて懐かしくもなる。Goat Bulletinは研究室の広報誌という位置づけであるが、連載時には意外と多くの読者がいたようである。全く予想外の人から、愛読していましたと聞いた時は、うれしくも恥ずかしくもあった。多くの人から、自分の研究室でもあのようなことができたかと、うらやましがられたりもした。当然、世の中に公表するからには、内容的にそれなりのクオリティーが求められるであろうし、内容的にも問題がないかを自主的にチェックしたりもしている。しかし、「事なかれ主義」の横行する世の中で、自由な発想を重んじる京都大学をアピールしたいという思いがあった。だから、個人的なブログではなく、京都大学に属する研究室の広報誌に書くことに強い思い入れと覚悟があった。リスクを恐れ、委縮している世の中に対して、一矢報いたいとの思いもあった。

なぜ、Goat Bulletinを書いてきたかといえば、私は、これまで多くの論文を執筆したり、関わったりしてきたが、それら学術論文とは異なる、自分の考え、思いを随筆として書きたかったからである。しかし、それにも負けず劣らず、在学生へのアドバイスやコメントになればと考えた。口で直接話しても理解してもらうことが難しいと思われることを婉曲的にエピソードにすることで、学生諸君が何かを感じてくれたらという気持ちで書いた回も多くあった。実際、頭の良い学生たちだったので、私の意図が伝わって、理解してくれたことも多々あった。また、卒業生に対しては、読んでくれることで少しでも研究室を思い出してくれたらとの思いがあった。畜産資源学研究室では、優秀な卒業生を数多く輩出してきたので、縦のつながりも重視したかった。自分の出身研究室でもあるので、私は愛着も強い。卒業生もそうであってくれたらと望んでいる。

いま、アメリカでトランプ大統領が生まれ、イギリスがEUから離脱を決めた。世界がまさに変わろうとしている。その方向性が正しいかどうかはわからないが、多くの矛盾がうねりとなって、世の中を動かしている。若い人たちにとっては、ますます困難な時代になってきた。寄らば大樹の陰ということわざがあるが、研究室は大樹でありたいし、在校生と卒業生をつなぐ媒体としてGoat Bulletinがその任を負ってくれたらとも考えている。なかなか塚原編集長のような人材がおらず、編集長の後任は今も見つかっていないので、また長い休刊になる。しかし、それでも永遠に不滅だと私は考えている。われわれの研究室は、これまでいろいろな新しい試みに挑戦してきたが、このGoat Bulletinの試みもそうであったと思っている。何もしないのは簡単であるが、何かをするから何かが生まれるのである。畜産分野では、家畜をテーマにしてもよい研究はできないとラットやマウスを用いた医学、薬学系の研究に走る研究室がほとんどである。その中で、畜産資源では家畜を対象とする研究にこだわってきた。Goat Bulletinもこれらの研究に匹敵する、なかなか他の研究室ではまねできない新しい試みであったと信じている。他のできない事をする、それが研究の原点でもある。またいつか再刊できることを楽しみにしている。



今月のイベント

今月は、卒論、修論、博論の打ち上げに加え、歓迎会、送別会、バレンタイン、お誕生日会などなど、たくさんのイベントがあったので、写真で一気にご紹介します～。



小栗牧場の美味しいお肉の牛鍋とあんこう鍋



広岡先生一番のり♪



女子会



坂井君のお誕生日会



新旧女子会には暁ちゃんもスタメン参加



乾杯のご挨拶



Plaさん送別会ピザパーティ



今年のバレンタインデーには、畜資女子からメッセージつきのかわいいプレゼントが男性陣へ贈られました

Laboratory of Animal Husbandry Resources

Department of Animal Husbandry Resources, Kyoto University, Faculty of Agriculture Oiwakekyo, Kitashirakawa, Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365
FAX 075(753)6365
http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN




畜産資源学研究室

お知らせ

今月の予定

2月10日(金) 卒論ポスター発表会 大会議室
2月14日(火) 修士学位論文講演会 W214
2月15日(水) 学位口頭試問 (酒井・王琳)
2月16日(木) 学位口頭試問 (Pla・三輪)

今月のイベント

2月7日(火) ようこそ歓迎会
2月9日(木) 園田君サルサデビュー
2月14日(火) バレンタインデー 
「お疲れ様」会by有志モツ鍋会
(新4回生にも声かけています)
2月15日(水) 女子会 (スペシャルゲスト竹内さん)
2月16日(木) 博士論文お疲れ様会&Plaさん送別会
岡本君サルサデビュー

2017年 2月の飼育当番表

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17 カニユール装着	18 熊谷先生・王琳
19 熊谷先生・岡本	20	21	22	23	24	25 網島
26 牟禮	27	28				

編集後記 平成23年5月号から5年9ヶ月ぶりのGOAT BULLETIN発行は、宴の席で決まった話でしたが、研究室の皆さんの協力を得て、久しぶりに楽しく編集させていただきました。もともとは、新しく研究室にやってきたヤギの飼養管理について、研究室内で情報共有するために始めたGOAT BULLETINですが、いつしか畜産資源学研究室広報としての役割が大きくなりました。以前ご愛読いただいた多くの方々にも、この臨時号を楽しんでいただけると嬉しいです。約3週間という短い間でしたが、目的にしていた分析も終え、先生方をはじめ懐かしいメンバーや、今回初めて会う畜資の学生さんたちとも交流を深めることができました。「畜資サルサダンス」も誕生し、次回遊びに来るのがますますエキサイティングな感じです。またいつか皆さんとお会いできる日を楽しみにしています♪ (ようこ)